

1 前回の議論から

- 部活動を短期間で地域に移行させ教員との関わりを減少させることありきで進めるのではなく、関係者の理解を得ながら丁寧に進めていくべき
- 部活動指導員の充実を図り、既存の部活動の拠点校化を進めていくことも、当面の間、教員の負担軽減、外部の指導人材の養成、少子化への対応として有効な現実的な手段の一つではないか

2 第1ステージ 短期スパンでの見通し

拠点校方式により部活動の機会を維持しながら、モデル事業等を通じて新しいスポーツ・文化芸術活動に触れられる環境の充実と課題の整理を図る。

来年度から4拠点における民間事業者への事業委託によるモデル研究へ移行し、今後、モデル拠点を拡大していく。